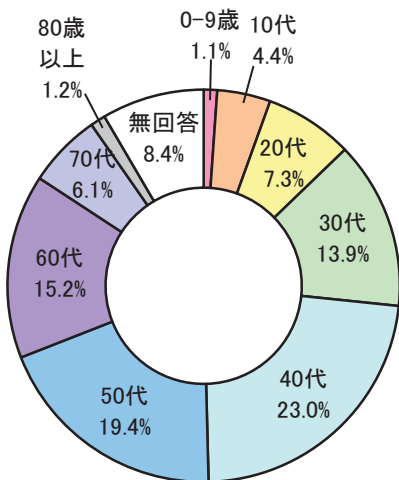


特別展「みちのくの仏像」アンケート集計結果

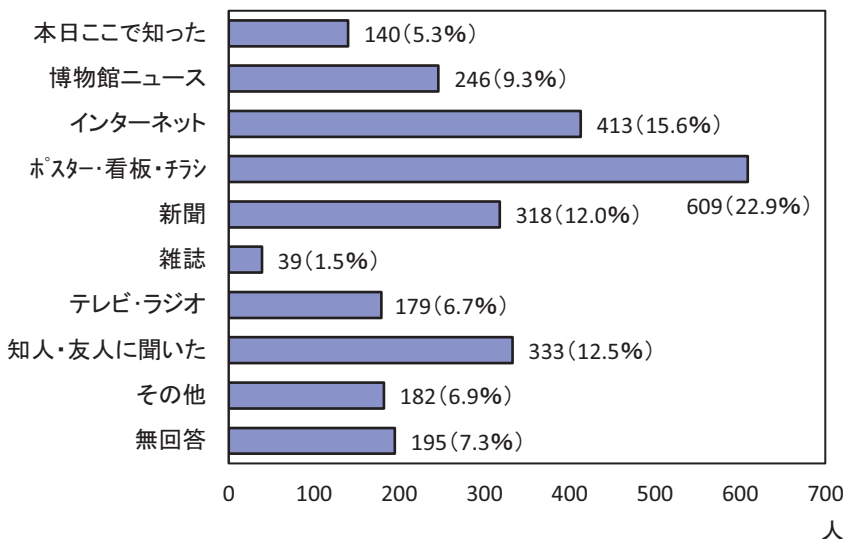
開催期間：平成27年1月14日（水）～ 4月5日（日）〔73日間〕

回答者数：2,252人（総入館者数：179,521人 アンケート回収率：1.25%）

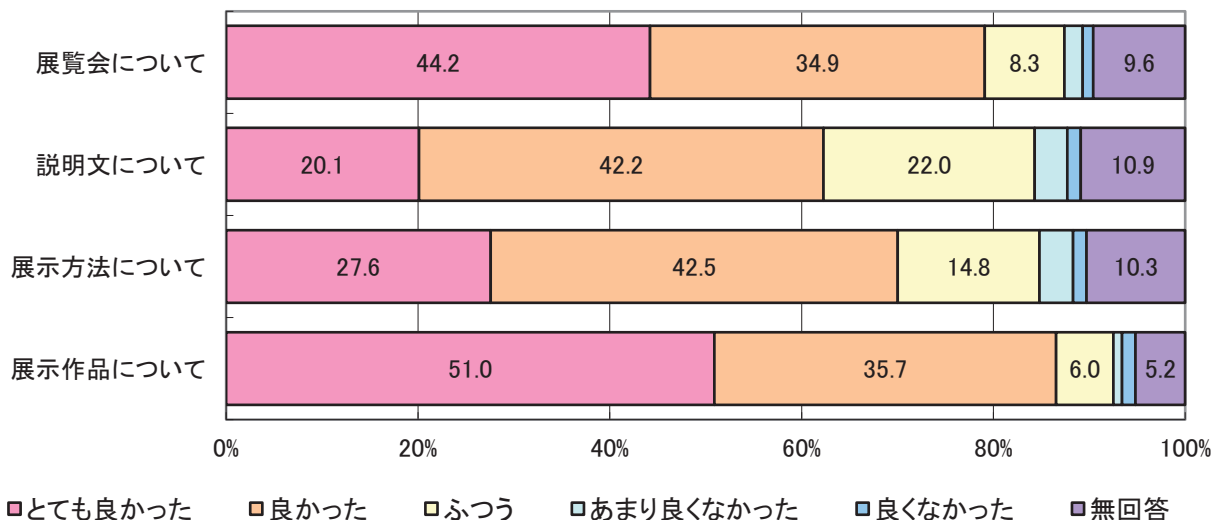
①アンケート回答年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・素朴で力強く、素晴らしい仏像ばかりだった。
- ・「薬師如来坐像(勝常寺蔵)」「十一面観音菩薩立像」「十二神将」がよかった。
- ・全ての寺社を実際にお参りに周るのは難しいため、このように一度に全て見られてよかった。
- ・音声ガイドの薬師丸ひろ子さんのナレーションがとてもよかった。

注:上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展覧会	1.9	1.1
説明文	3.4	1.4
展示方法	3.5	1.4
展示作品	0.9	1.4

(%)

本展覧会は、東北の三大薬師と称される、黒石寺(岩手県)、勝常寺(福島県)、双林寺(宮城県)の薬師如来をはじめ、東北各県を代表する仏像が一堂に会する展覧会です。東北地方の仏像は、一木造、素地仕上げなど、独特の手法で制作され、その力強い表現と特有の人間味あふれる雰囲気知られています。会期中に東日本大震災から4年を迎え、そのような「みちのくの仏像」をとおして東北の魅力にふれていただく機会とさせていただいた本展には、18万人近い方々にご来場いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して約80%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な評価をいただいた他、展示作品全般に関しても多くの好評意見を賜りました。一方で、「出品数が少ない」「会場が狭い」などのご意見も寄せられました。

今後も、来館者からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。